

個人宅庭園、お庭100景を目指しています

成田市仲町 三芳家 庭園名「三景園」について

園施工期日／着工平成28年11月～完成平成28年12月吉日

施工者／成田市在住 庭師-庭心 ☎090-3214-7120

会社名／庭加藤（ホームページ新着情報 庭加藤検索）

【入口より園内の風景を見る】



入口植栽は、細長い園路になるため、細立による大名竹を10株ほど植栽しました。細い中での緑深く見せるためです。

園内の影たを少しでも見る事ができるよう、赤笠、樹木、燈籠を配置しました。

【入口右側部分】



【店内入口景観の説明】

樹木、シダレザクラを前庭園より植栽のまま、この桜を利用（3月には花が咲き、庭園をより美しく春日をえられると思います）

樹景が、上部が重たく、幹が長く見えるため、オオムラサキツツジを植栽し、また、手前に烏丸燈籠を配置することにより、前庭の安定感を計りました。サクラの横に植樹したツツジは、棟木に下枝の少ないものを植樹する事により、庭内をより広く見せる事が狙いです。

床部分に対しては、より広い空間を見るため、または、土面に対しての動きを感じるように御影平板を土止めとして、変化を与えています。

園路には、板石、小石によって、曲がりに敷いている小石と同様にし、園路を広く見えるように造成されています。

園路の中に、苔や下草などを足元に配置することにより身近に感じ、園内を散策できる庭園に造られています。

燈籠の足元にひきうすを配置、これに対しては園内に入る前に、心の邪念を捨てるちり穴と見立てています。

【滝部分】 造って造らず



後方竹林を背景及び山相いの姿を利用し、湧き水が流れ出す姿を演出し、石積みを行う事とし、小石を積む事により、1mの滝に。大石を配置なしでも、滝の姿を現せています。

滝水に滝壺を造る事により、水の音を引き出すよう造り出しています。

滝壺の下より流れ出す姿、石組を巧みに行い、流れを再現しています。

【川流れ】 造って造らず



この流れの中に御影平板を使用し、足元部分に対し御影石の間に水が流れる事に石組を見入る事を考えています。

滝及び小流れに使用されている石組の配石は、庭園美、造って造らずの配石となっています。

【庭心蛸燈籠】 (命名)



庭心蛸燈籠と後方の南天により、景観を造り出しています。

無になる事により、美が現れる事でしょう(心間)

「三景園」作庭にあたり、多くの周囲より堪能できるよう作庭を行っています。春日3月～花木や新緑・苔などの美しさが現れると思います。

ご来店ありがとうございます。気をつけてお帰り下さい。

四季折々の表情でお迎えする同店へまたのご来店をお待ちしております。 庭師-庭心

【庭心経歴】

昭和63年9月 社団法人 日本庭園協会より日本庭園伝統技術者推薦1号と成る (現1名)
平成元年 公共庭園随意契約経験 (特命) 年齢37歳 (日本初)
任 務 日本庭園に於ける技術向上及び社会貢献を計る (現在66歳)
作庭の心構え 我が心無心成り